

青森県海区だより

(発行 2007年8月31日 第17号)

〒030-8570 青森市長島1-1-1
 青森県海区漁業調整委員会事務局
 TEL 017-734-9851
 FAX 017-734-8166
 e-mail Kaiku@pref.aomori.lg.jp
 HP http://www.pref.aomori.lg.jp/kaiku/



第10回日本海・九州西広域漁業調整委員会開催



(第10回日本海・九州西広域漁業調整委員会・白須水産長官の挨拶)

- 開催月日：平成19年8月6日
- 開催場所：東京都農林水産省
- 出席者：委員 21名 関係道府県事務局 13名
 業界 5名
 水産庁 白須長官他関係職員 18名
 青森県からは西部海区委員の西崎委員、富田委員の2名が広域漁業調整委員として出席しました。青森県海区事務局からは、佐藤主査が出席しました。

白須水産庁長官の挨拶(要約)

水産業を取り巻く状況は、厳しいが世界的に水産の需要が高まっている。本年3月に「水産基本法」に基づく、新たな「水産基本計画」を作成した。我が国の周辺水域、沖合水域の資源生産力の向上を図ることを目的に、排他的経済水域において国が主体となり、漁場整備に向けた制度改正を行うことになった。5月下旬に「漁港漁場整備法」の一部を改正し、その第1号として、今回の日本海西部海区において、早急に資源回復計画を図る必要があるズワイガニ、アカガレイを対象とした保護育成礁の準備を進めている。都道府県をまたがって関係する漁業者がいることから、広域漁業調整委員会に諮って意見を伺う。

漁業資源の回復をより一層着実なものにするために、この事業の役割はきわめて重要である。

案件：議題

- (1) フロンティア漁場整備事業の計画策定について

原案どおり決定

趣旨

排他的経済水域において、国が資源の回復を促進するための施設整備を資源管理措置と併せて実施することにより、当該海域の水産資源の生産力を向上させ、水産物の安定供給の確保を図る。

事業の内容

日本海西部海域(兵庫県から島根県までの地先水面のうち、アカガレイ、ズワイガニの生息・繁殖の水深帯を有する海域で領海及び日韓暫定水域を除く)において、アカガレイ、又はズワイガニを保護するために必要な機能を備えた増殖場の造成。

日本海のクロマグロ漁獲量7月までの累積では好調



日本海では、6月中旬まで過去5カ年平均並からやや少なめで推移しましたが、7月下旬までの累積漁獲量は、180トンと前年比では303%、過去5カ年平均と比較すると361%でした。(全漁法)

(青森県水産総合研究センター
 ウオダス 漁海況速報
 No. 1572号から抜粋)

(写真提供：中泊町水産観光課)

水産基本計画の改定と水産関係法案改正の概要

水産政策の全般にわたる改革に取り組み、水産に関する施策を総合的かつ、計画的に推進するため、新たな水産基本計画を平成19年3月20日に閣議決定しました。この計画を受けて、第166回の国会(1月25日から7月5日)で、水産関係法の改正案が提出され成立しましたので紹介します。

- 漁業法及び水産資源保護法の改正
 - 漁船漁業の構造改革の促進
 - 漁業取締りの強化に向けた罰則強化 等
- 水産業協同組合法・中小漁業融資保証法の改正
 - 漁協事業の部門別経理の徹底、共済契約者の保護に向けた措置の導入
 - 漁業信用基金協会の保証基盤の強化のための財務基準に関する措置の導入 等
- 漁港漁場整備法の改正
 - 漁場整備事業の実施主体としての国の追加 等



大型クラゲ情報

(社)漁業情報サービスセンターによると大型クラゲは8月に入ってからの北上は停滞しているようです。8月30日現在までの大型クラゲの出現は、若狭湾の定置網に数個体入網し、石川県加賀市の定置網に1個体確認されています。



9月のスケジュール

- 9月5日 内水面漁場管理委員会増殖計画策定検討部会開催(青森市)
- 9月10日 県愛魚週間(鯉ヶ沢町)
- 9月15日 県豊かな海づくり大会(青森市)
- 9月13日 西部海区漁業調整委員会開催(青森市)
- 9月14日 東部海区漁業調整委員会開催(青森市)
- 9月20日 全国内水面漁業振興大会(滋賀県)
- 9月20日 海区事務局職員研修会(大分県)